

III Volunteer for Oversea Students/International Lounge (Annual Report(2nd semester, 2019-1st semester, 2020))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子, 袴田, 麻里, 佐川, 祥予 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028200

Ⅲ 留学生支援ボランティア・国際交流ラウンジ

熊井 浩子／袴田 麻里／佐川 祥予

静岡キャンパスでは、従来の留学生支援ボランティアの活動に加え、令和元年度7月に留学生と日本人学生、留学経験者などが英語や日本語で交流・情報交換できる場として「国際交流ラウンジ」をオープンさせ、後期の本格始動に向けたプレイベントとして、英語と日本語による交流会および留学経験者・留学生支援ボランティア・ABP副専攻経験者によるプレゼンテーションなどのイベントを2回実施、30名近い参加者があった。

令和元年度後期はそれを発展させる形で、English Loungeや講演会、説明会、学生スタッフやボランティアによるイベントなどの多様な活動が行われた。令和2年度からはこのラウンジ活動も含め、従来の「留学生」「支援」から、日本人学生・留学生が対等な立場でより主体的・双方向的な活動を行う場として発展させていきたいと考えていたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響でほとんど活動できない状態となってしまう、新規募集も行われなかった。

浜松キャンパスは、新入生ガイダンスの縮小によりボランティア募集の呼びかけができず、また来校自体ができない時期が続いたため、留学生歓迎会や交流会が実施できなかった。そのため、在学生も令和2年度入学生もボランティア継続、応募する学生が極端に少なくなった。

1. 留学生支援ボランティア

留学生支援ボランティアは平成14年度より活動が始まったが、平成2年度は12月現在で静岡キャンパス20名、浜松キャンパス7名、計27名となっている。部局別登録者数は、次の通りである。

年度	人文 (社会科学)	教育	農	理	地域創造 学環	工	情報	合計
平成 15年度	7	22	8	0		4	5	46
16年度	24	21	8	5		5	6	69
17年度	13	26	5	10		7	6	67
18年度	19	44	5	4		16	6	94
19年度	29	46	6	3		9	5	98
20年度	43	40	7	3		19	4	116
21年度	36	31	5	5		20	6	103
22年度	40	35	4	6		26	14	125
23年度	46	30+2=32	6+1=7	6+2=8		13+5=18	11	122
24年度	18	23	5+1	5		20+10	13	84+11
25年度	39	23	4+1	4		20+9	12	103+10
26年度	37+1	24+1	1+1	4		23+4	23	112+7
27年度	28+1	20	2+1	6		23+5	25+1	104+8
28年度	21	20	0	5+1		26+6	27	99+7
29年度	14	14	3	4		16+4	17	58+4
30年度	20	10+1	4	6		20+3	22	84+4
令和 元年度	14	7+2	8	1	1	20	18	69+2
令和 2年度	3	3+2	6	4	2	4	2+1	24+3

* +の前が学部生、あとが大学院生である。総合科学技術研究科は専攻により集計。
+がないものは学部生のみ。

留学生支援の主な活動内容は以下の通りである。

1) 日本語教育支援

国際連携推進機構で行われている日本語授業に参加し、留学生の日本語学習を支援する。具体的には、会話の相手、討論会での意見交換、異文化授業への参加、留学生発表会の見学などがある。その他、授業外に日本語の勉強のサポートや会話のパートナーになってもらう例もある。

2) 生活支援

日本に慣れない留学生のために、日本の生活を紹介する。友人を紹介したり、街の中を案内したり、買い物を手伝ったりする。

3) 日本文化紹介

日本に関係することで、得意なこと、好きなことを留学生に披露する。特に、茶道や書道、柔道や剣道、折り紙やあやとりなど、伝統的な日本文化を留学生に伝える。

4) イベントへの参加

国際連携推進機構で企画するイベントに主催者側または参加者側として参加する。

これらの支援活動は、留学生支援が必要となったり、交流活動があったりする場合、Eメールによって登録されたボランティア学生に直ちに連絡され、都合のつくボランティアが参加するという形をとっている。

静岡キャンパスでは、令和元年11月に後述のように、国際交流ラウンジとコラボする形で、学生主催の交流会を開催するなどの活動が行われていたが、令和2年度前期は新型コロナウイルスの影響で5月の交流会やサマースクール（6月下旬～7月上旬実施）で来日する留学生のための交流活動、7月のポーランド・ワルシャワ日本語学校学生との交流も含め、全ての活動が中止となった。

浜松キャンパスでは、2019年度は留学生の都合や好みを把握できていなかったり、交流を深める方向へ目が向いていなかったりした事例がいくつかあった。これまでは何のために留学生支援ボランティアがあり、交流活動などを企画するのかを指導する必要はないと考えていたが、ボランティア活動に入る前、また入ってから適宜指導する準備を始めようとしていた。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により、ボランティア生募集もままならない状況である。

例年両キャンパスともに、今回も、ボランティアの活動をきっかけとして留学に興味をもち、交換留学・ILUNO・VSCPなどの大学プログラムその他で留学する学生も多く、反対に、留学後に支援ボランティアに加わるケースもあった。国際連携推進機構でも、この活動が次のステップへと結びつくよう、国際交流イベント・留学プログラム等の情報提供等を積極的に行って支援している。一方で、近年ボランティア希望者の減少や、募集しても参加希望者がいない場合があるなどの課題があったが、静岡キャンパスでは特に令和元年度後期は国際交流ラウンジの活動が活発に行われ、留学生支援ボランティアの活動がそちらに吸収されたような状況となっている。

2. 国際交流ラウンジ

2. 1. 静岡キャンパス

語学学習や留学促進が国際交流ラウンジ（以下、ラウンジ）開設の大きな目的であることから、令和元年度後期には英語ネイティブのファシリテーターのもとで気軽に英語でコミュニケーションを行う English Lounge を授業のある水曜日と木曜日の12時から1時半まで各15回実施した。担当は静大の英語科目を担当しているカナダ、オーストラリア出身の非常勤講師2名で、留学経験者や留学を目指している学生、アメリカ・インド・フランス・ベトナム・中国・インドネシアなど、各国からの留学生の参加があり、毎回非常に和やかな雰囲気が進められていた。

10月の半ばからは English Lounge のない火曜日と金曜日の12時から1時半までは学生スタッフ・ボランティア担当のフリーラウンジとして解放され、これにより、月曜日以外は毎日オープンできることになり、常設化に向けて大きな一歩を踏み出したと言える。

加えて、各種教育・留学プログラムの説明会や留学・海外研修報告会の場として活用されたほか、内外の講師を招いての各種講演会やワークショップ、学生主催のイベント等が開催され、1月末までのラウンジ利用者は延べ約700人となるなど、非常に好評であった。静大フェスタ「体験！グローバルキャンパス」や講演会「イスラームの普遍性と多様性 ―

インドネシアのイスラーム文化から考える」のように地域向け、あるいは地域の参加者を受け入れたイベントもあった。

【主なイベント】

- 英語トーク・イベント「Youは何しに海外へ？」 講師：Halla Kim UNO/Sogang University 教授 10/3(木)
- 留学生交流会（学生主催イベント） 10/24(木)
- ワークショップ「留学・英語留学を経験した2人が語るドラえものの道具〈英語〉って」 講師：Neo Creative English主催英語教師・コメニウス大学元交換留学生 10/29(火)
- 英語音声クリニック①～④ 講師：国際連携機構特任教授 11/14(木)・11/28(木)・12/12(木)・1/16(木)・1/23(木)
- 静大フェスタ「体験！グローバルキャンパス」 講師：国際連携推進機構教員・学生スタッフ 11/16(土)
- インドネシアDay（学生主催イベント） 12/12(木)
- 「書文化」をあなたに 講師：Darius Greenidge 学長室付客員教授、杉崎 哲子 教育学部教授 11/26(火)
- 海外ボランティア説明会／TOEFL説明会 12/13(金)
- 台湾高校生来訪 12/17(火)
- クリスマスラウンジ（学生主催イベント） 12/19(木)
- 探検、アフリカ系アメリカ音楽 講師：Steven Urick 大学教育センター准教授 12/20(金)
- 日本のお正月（学生主催イベント） 1/16(木)
- 講演会「イスラームの普遍性と多様性 —インドネシアのイスラーム文化から考える」 講師：中田有紀 東洋大学アジア文化研究所客員研究員・立教大学兼任講師、インドネシア留学生 1/22(水)
- 中国Day（学生主催イベント） 1/23(木)
- ABP副専攻修了研究報告会 1/29(水)・1/30(木)
- ブルガリア・ソフィア教員との懇談（交換留学予定者） 講師：Anton Andreev ソフィア大学日本学科助教 1/30(木)

English Loungeも含め、ラウンジの運営は大学から謝金を支払う4名の学生スタッフおよび留学生支援ボランティアや留学生交流サークルKASAのメンバーを中心としたラウンジボランティアが関わっており、学生スタッフはボランティアの学生の勧誘や取りまとめ、イベントの企画などを担当し、双方の協力の下、学生主催のイベントも多く開催された。留学生が多く関わってくれたことも特徴である。学生スタッフは留学経験者や留学生支援ボランティア、留学生から教員が指名した学生であるが、この学生達のリーダーシップがラウンジ運営が軌道に乗った大きな要因である。ただし、2名は最終学年であるため、次年度への橋渡しが鍵となった。このように、初年度としては順調な滑り出しではあったが、潜在的な留学希望者を掘り起こすという点での課題は残った。

平成2年前期はEnglish Loungeを週3回実施する計画を立てていたが、オンライン授業がひと段落した5月27日(休)から毎週月曜日(のちに金曜日に変更)・水曜日・木曜日にオンラインで実施することになり、一定数の参加があった。また、6月25日(休)には「留学体験・英語学習」、7月16日(休)にはIELTS説明会を浜松キャンパスと合同でオンラインで実施した。ラウンジボランティアもオンラインによる活動を検討していたが、残念ながら実現には至らなかった。

2. 2. 浜松キャンパス

浜松キャンパスでは、国際交流と学内交流を目的とした企画として、令和元年12月に「国際文化体験祭」と「インターンシップ報告会」を実施した。国際文化体験祭では、約50名の来場者(留学生・日本人学生・地域住民)があり、ベトナム、タイ、インドネシア、ミャンマーの文化紹介のブースで交流を行った。インターンシップ報告会は、ABPインターンシップ科目を履修した学生が夏季インターンシップについて、後輩の留学生と教職員に対して、成果報告を行った。

令和2年度より、浜松キャンパスでも本格的に国際交流ラウンジの企画を実施する予定であったが、上述の令和2年6月「留学体験紹介」、7月「IELTS説明会」を除いて、ほぼ全ての活動が見合わせとなっている。留学体験紹介とIELTS説明会は、静岡キャンパスと浜松キャンパス共通の企画で、ZOOMで実施した。参加者は10名程であったが、受講者からは好評であった。今後、オンラインを使用した企画なども視野に入れながら、活動を進めていく予定である。

このように令和2年度前期は活動が難しい状況であったが、今後は留学生支援ボランティアと国際交流ラウンジボランティアの活動の一本化を進め、国際交流ラウンジ常設化も含む活動として発展させていくこと、また、こうした活動の広報を充実させ、より多くの学生に交流や留学についての情報収集の機会を提供していくことが課題である。